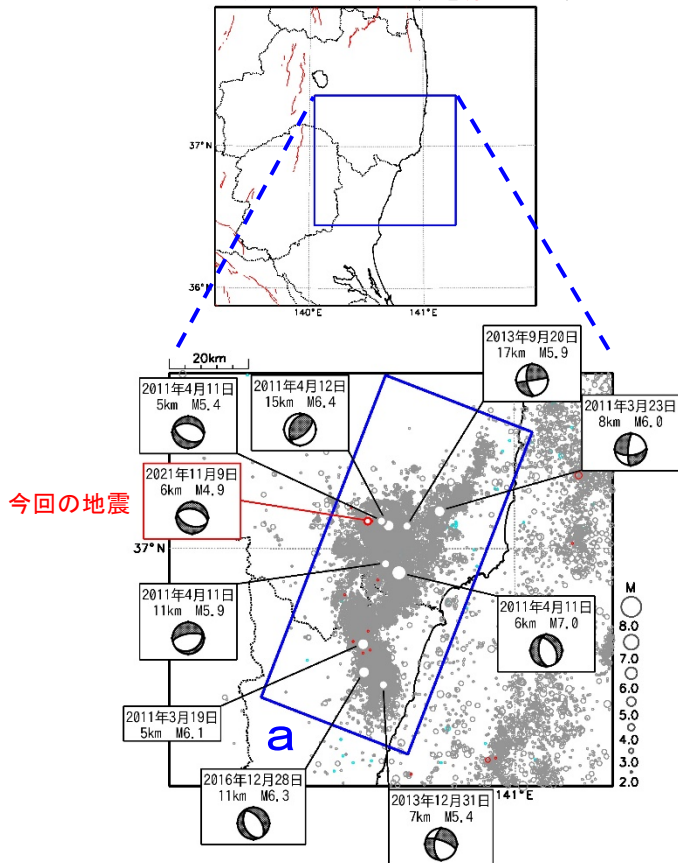


11月9日 福島県中通りの地震

震央分布図

(1997年10月1日～2021年11月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を水色○、
2011年3月11日以降に発生した地震を灰色○、
2021年11月に発生した地震を赤色○で表示

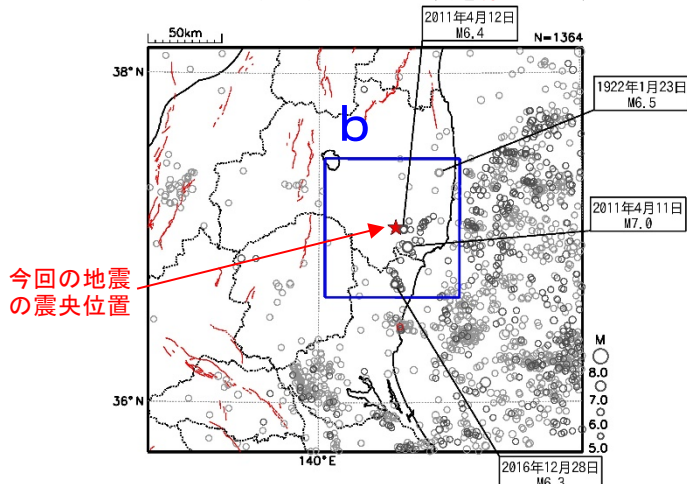


図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層帯を示す。

震央分布図

(1919年1月1日～2021年11月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を灰色○、
2011年3月11日以降に発生した地震を黒色○、
2021年11月に発生した地震を赤色○で表示

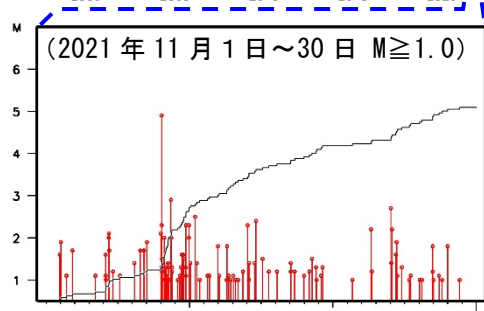
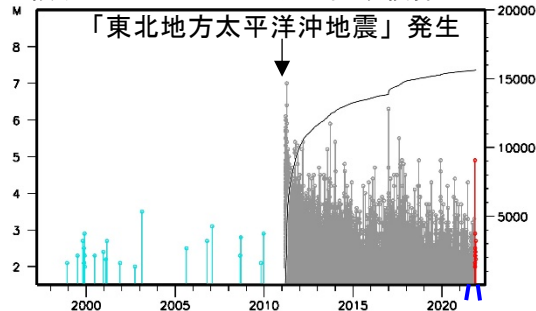


図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層帯を示す。

2021年11月9日01時14分に福島県中通りの深さ6kmでM4.9の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は北北東-南南西方向に張力軸を持つ正断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内（領域a）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、M5.0以上の地震が時々発生している。このうち、2016年12月28日に発生したM6.3の地震（最大震度6弱）では、負傷者2人、住家半壊1棟、一部破損25棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。「東北地方太平洋沖地震」発生以降の活動は全体として徐々に減衰しているものの、「東北地方太平洋沖地震」前と比べて、地震発生数の多い状態が継続している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、1922年1月23日に発生したM6.5の地震では、トンネル内の小亀裂、陶器窯の破損の被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図

